



雪模様の中、一関市内の商店街を駆け抜ける「元旦マラソン」参加者

一関楽走会主催の「二〇〇八年 元旦マラソン」は一日、一関市大手町の一関文化センター前から平泉町の毛越寺までの区間約九キロで行われ、会員と一般参加者三十三人が雪模様の中、走り初めてさわやかな汗を流した。

初参加の阿部皆子さん(五八)は「同市赤荻」は「完走できるか心配だったが、楽しく走ることができた。来年もまた参加したい」、毎年参加している最年長の及川繁さん(七九)は「走ることはあらゆるスポーツの基本。今年八十歳になるが、これからも毎月「三百キロ走る」と元気に語り、互いの健闘をたたえた。

## さわやかに 元旦走り初め

一関楽走会  
マラソン

また参加したい」、毎年参加している最年長の及川繁さん(七九)は「走ることはあらゆるスポーツの基本。今年八十歳になるが、これからも毎月「三百キロ走る」と元気に語り、互いの健闘をたたえた。